

資料番号

3

令和6年2月29日

課名 商工労働局

コロナ機動的経済支援プロジェクトチーム

担当者 担当課長 三牧

内線 3460

広島県経済の動向

令和6年2月29日

商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	県内小売業等の動向	5
1	百貨店・スーパー	
2	宿泊・飲食サービス	
3	観光	
IV	中小企業の動向	7
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
V	企業倒産状況	9
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
VI	最近の雇用失業情勢	10
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況(全国・県内)	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年	R6年	
	12月	1月	2月
基調判断	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。	
輸出	このところ持ち直しの動きがみられる	このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる	
生産	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しに向かっていったものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している	
設備投資	持ち直しに足踏みがみられる		
雇用情勢	改善の動きがみられる		
個人消費	持ち直している	持ち直しに足踏みがみられる	
住宅建設	弱含んでいる		
企業収益	総じてみれば改善している		

(2) 先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和6年2月21日公表)】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	10月	11月	12月
基調判断	緩やかに回復している		
輸出	供給制約の影響が和らぐもとの、持ち直し基調にある		
生産	緩やかながら持ち直し基調にある		
設備投資	緩やかに増加している	増加している	
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	緩やかに回復している		
住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている	横ばい圏内で推移している	

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、緩やかな回復が続くことが期待されるが、海外経済の動向や物価動向、供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を一層注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和6年1月24日公表）】

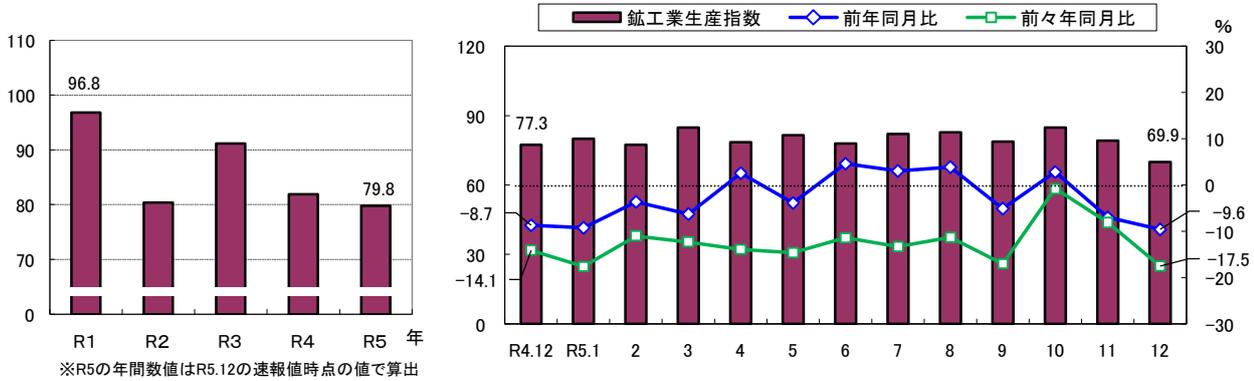
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和5年12月)

12月の鉄工業生産指数(鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年=100)は69.9で、前年同月比で9.6%減少、前々年同月比で17.5%減少となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

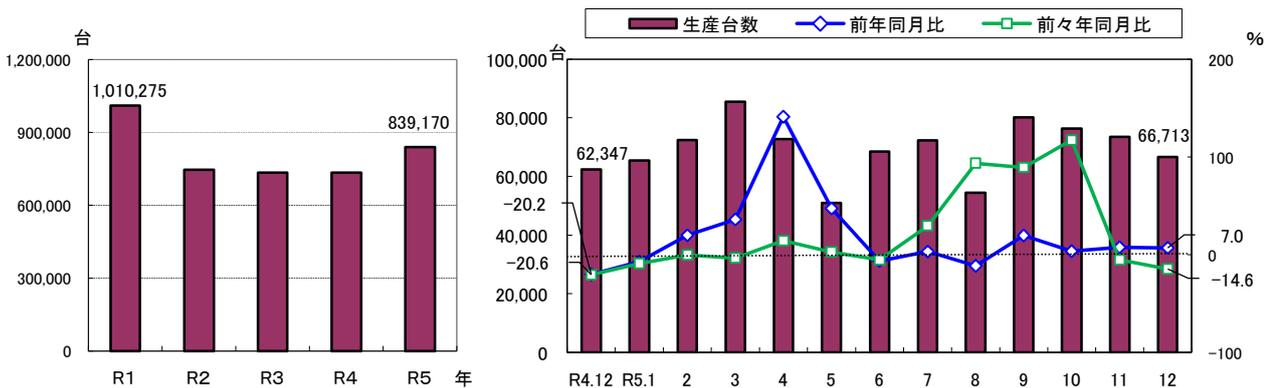


2 自動車(令和5年12月)

12月の国内生産台数は66,713台で、前年同月比で7.0%増加、前々年同月比14.6%減少となっている。

自動車生産台数(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

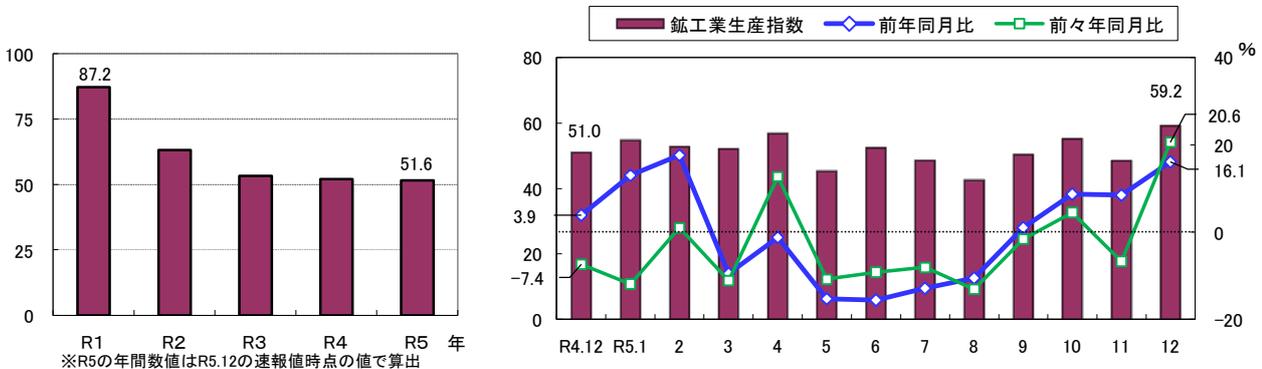


3 造船(令和5年12月)

12月の鉄工業生産指数(造船部門、原指数、速報値、平成27年=100)は59.2で、前年同月比で16.1%増加、前々年同月比で20.6%増加となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

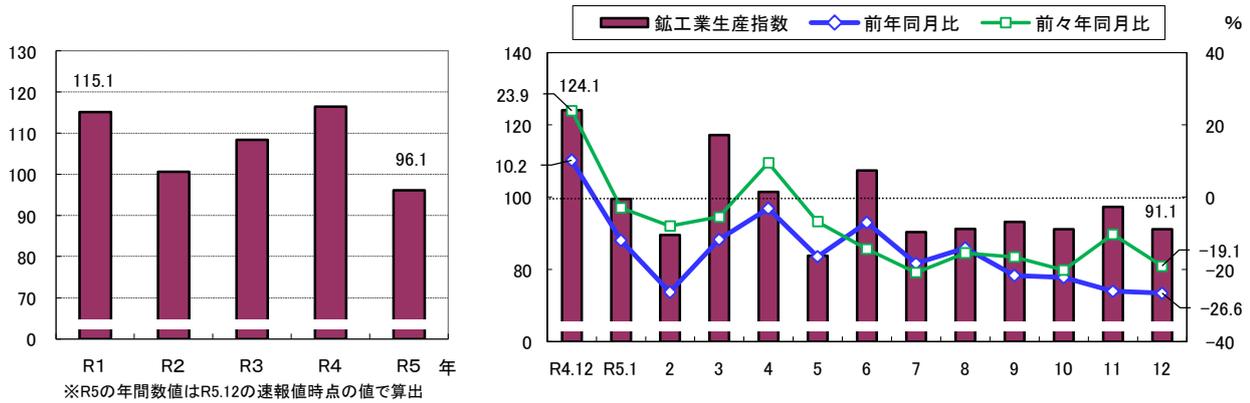


4 一般機械(令和5年12月)

12月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は91.1で、前年同月比で26.6%減少、前々年同月比で19.1%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

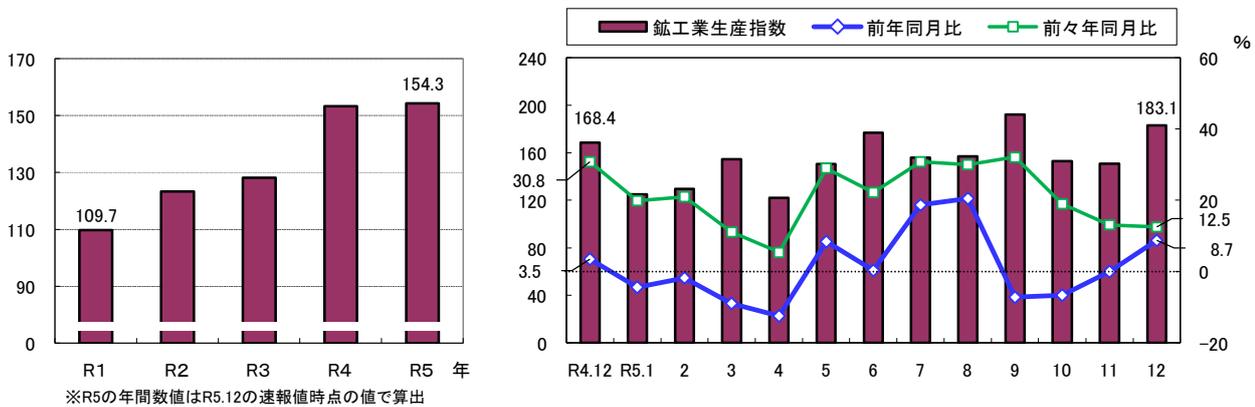


5 電気機械(令和5年12月)

12月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は183.1で、前年同月比で8.7%増加、前々年同月比で12.5%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



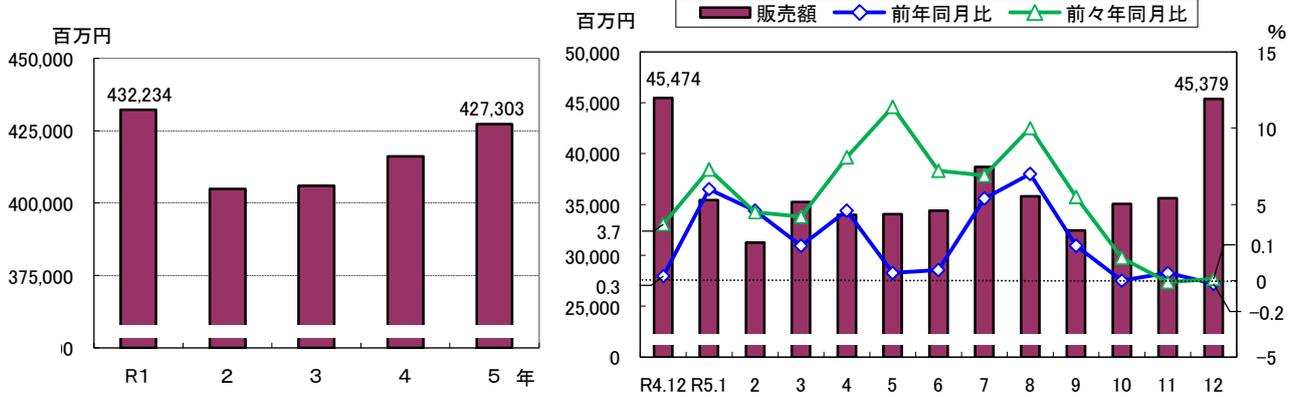
Ⅲ 県内小売業等の動向

1 百貨店・スーパー(令和5年12月)

広島県の12月の販売額は、45,379百万円（速報値）で全店舗前年同月比で0.2%減少、前々年同月比0.1%増加となっている。

【中国経済産業局】

中国地域百貨店・スーパー販売動向(広島県)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)



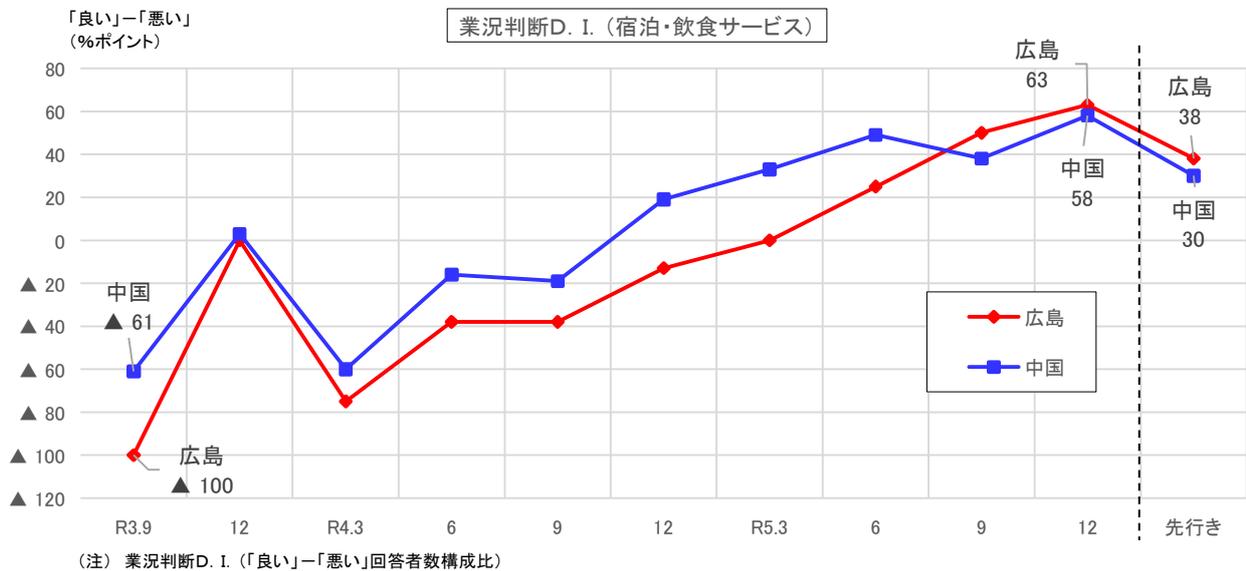
2 宿泊・飲食サービス(令和5年12月)

広島県の12月の業種別業況判断D. I. (宿泊・飲食サービス)は、63%ポイントと前回調査時より13%ポイント改善している。

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

調査月	令和5年6月	令和5年9月	令和5年12月	
			最近	先行き
業況判断D. I. (変化幅)	25 (+25)	50 (+25)	63 (+13)	38 (▲25)

【日本銀行広島支店「企業短期経済観測調査結果の概要」(令和5年12月13日公表)】



3 観光

(1) 宿泊者数(令和5年11月)

直近の数値である、令和5年11月の宿泊者数は108.6万人で、前年同月と比べ18.4万人泊増(+20%)で、コロナ前の令和元年同月と比べて7.5万人泊増(+7%)であった。また、外国人宿泊者数については11月は15.1万人で、令和元年同月を大きく上回った(+42%)。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

(単位:万人泊)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-11月計	
広島県	宿泊者数	70.4	68.3	96.1	94.6	106.2	81.8	90.3	111.9	92.1	103.2	108.6	発表前	1,023.6	
	R4年宿泊者数	48.0	41.5	64.9	66.2	73.4	61.5	75.7	87.6	76.1	84.3	90.2	83.5	769.5	
	R4年比	147%	164%	148%	143%	145%	133%	119%	128%	121%	122%	120%	—	133%	
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	1,077.7	
	R元年比	95%	89%	94%	87%	98%	93%	96%	97%	94%	93%	107%	—	95%	
全国	宿泊者数	3,949	4,114	5,068	4,554	4,926	4,533	5,254	6,102	5,032	5,378	5,292	発表前	54,202	
	R4年比	142%	179%	153%	139%	134%	134%	132%	130%	128%	122%	116%	—	134%	
外国人	広島県	外国人宿泊者数	3.2	3.2	9.0	15.2	11.1	9.1	12.5	13.3	12.1	15.7	15.1	発表前	119.7
		R元年宿泊者数	7.0	6.2	11.6	18.1	12.5	9.8	12.7	10.5	9.3	16.5	10.6	7.4	124.8
		R元年比	47%	51%	77%	84%	89%	93%	99%	127%	130%	95%	142%	—	96%
	全国	外国人宿泊者数	606	593	755	952	877	934	1,081	1,010	982	1,226	1,189	発表前	10,203
		R元年比	66%	64%	79%	84%	90%	97%	100%	106%	119%	119%	131%	—	96%

※出典：観光庁宿泊旅行統計調査

R元年及びR4年の宿泊者数は、確定値を反映。R5年は速報値で、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

(2) 県内主要観光施設の観光客数(令和5年12月)

10月～12月は、秋の繁忙期におけるレジャー、修学旅行、MICEなどによる国内団体客の増加や年末の帰省客の増加に加えて、紅葉目的の旅行やクリスマス休暇による外国人観光客の増加により好調であり、多くの施設でR元年同期を上回るか、近い水準となった。

【各観光施設からの聞取調査】

(単位:人)

観光施設	R元年			R4年			R5年			
	10月	11月	12月	10月	11月	12月	10月	11月	12月	
広島平和記念資料館	237,213	197,984	94,291	130,893	148,349	91,951	237,858	216,282	120,586	
	R元年比	—	—	—	55%	75%	98%	100%	109%	128%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	182%	146%	131%
宮島来島者数	406,033	485,322	282,537	301,607	452,939	292,492	477,383	534,921	327,534	
	R元年比	—	—	—	74%	93%	104%	118%	110%	116%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	158%	118%	112%
大和ミュージアム	97,758	88,610	55,034	51,415	52,129	43,133	74,795	77,563	49,578	
	R元年比	—	—	—	53%	59%	78%	77%	88%	90%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	145%	149%	115%
道の駅たけはら	16,417	15,223	12,647	12,117	12,940	10,728	10,986	10,049	9,367	
	R元年比	—	—	—	74%	85%	85%	67%	66%	74%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	91%	78%	87%
神楽門前湯治村(定期公演)	3,437	4,858	2,101	2,197	1,272	1,103	1,749	2,076	1,221	
	R元年比	—	—	—	64%	26%	52%	51%	43%	58%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	80%	163%	111%
千光寺ロープウェイ	43,134	47,631	21,740	54,217	47,644	11,549	48,859	53,696	27,736	
	R元年比	—	—	—	126%	100%	53%	113%	113%	128%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	90%	113%	240%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	2,072	1,842	768	1,448	1,945	620	1,559	2,099	935	
	R元年比	—	—	—	70%	106%	81%	75%	114%	122%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	108%	108%	151%
国営備北丘陵公園(千人)	70	72	80	54	77	65	49	71	78	
	R元年比	—	—	—	76%	106%	82%	70%	98%	98%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	92%	93%	120%

IV 中小企業の動向(令和6年1月)

【広島県中小企業団体中央会（令和6年2月15日時点）】

1 概況

前月は一部の業種で売上等の上昇といった回復傾向が見られたが、当月は全体的に悪化傾向にあり、原材料費、電気代、燃料費、人件費などのコストアップが中小企業の経営環境を圧迫していることが主な要因として考えられる。多くの事業者においてこの先好転する兆しが見えない状態が続いている。

自動車関連業種では、令和5年12月の国内自動車販売台数は前年同月比+5.4%と16ヶ月連続で増加。マツダ車は▲14.0%と減少した。

また、木材業界では、令和5年12月の新設住宅着工戸数は64,586戸で前年同月比▲4.0%。県内の着工戸数は1,296戸で、前年同月比+16.2%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「12月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は12月分のデータを掲載

2 景況感・景況感の変化

業種	12月の景況感	1月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	普通	やや悪い
木材	悪い	悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	普通
化学	普通	普通
プラスチック製品	普通	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	普通	普通

業種	12月の景況感	1月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	やや悪い	やや悪い
自動車部品	普通	普通
造船	普通	普通
建設	普通	やや悪い
トラック輸送	普通	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	普通
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	12月	1月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	0	0
普通	11	8	▲3
やや悪い	7	10	3
悪い	2	2	0

3 前月(12月)から変化のあった主な業種

業種	12月の景況感	1月の景況感	変化の理由・状況
繊維・衣服	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・暖冬の影響も有り、売上や収益は前月比、前年同月比ともに減少している。原材料の高騰なども改善せず業界全体として厳しい状況が続いている。 <p>【一般財団法人広島県織物工業会】</p>
プラスチック製品	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関係は、売上が減少傾向にあり、それ以外は、横ばい傾向。 ・材料単価が上昇して、益々材料費率が高くなる傾向にある。また、電気代・その他経費は、増加傾向にある <p>【広島県プラスチック工業会】</p>
建設	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比▲17.6%、前年同月比▲18.5%となった。先月全体をけん引していたカーテンが今月は半減した。依然として大型物件の受注は少ない。 <p>【広島県室内装飾事業協同組合】</p>
トラック輸送	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・1月の売上高は前月比が減少、前年同月比が増加となった。 ・軽油価格は政府の補助金の増額により値下げとなった。 ・2024年問題に対して運送業者としてどのように乗り越えて事業を継続していくか厳しい状況にある。 <p>【広島東部トラック運送事業協同組合】</p>

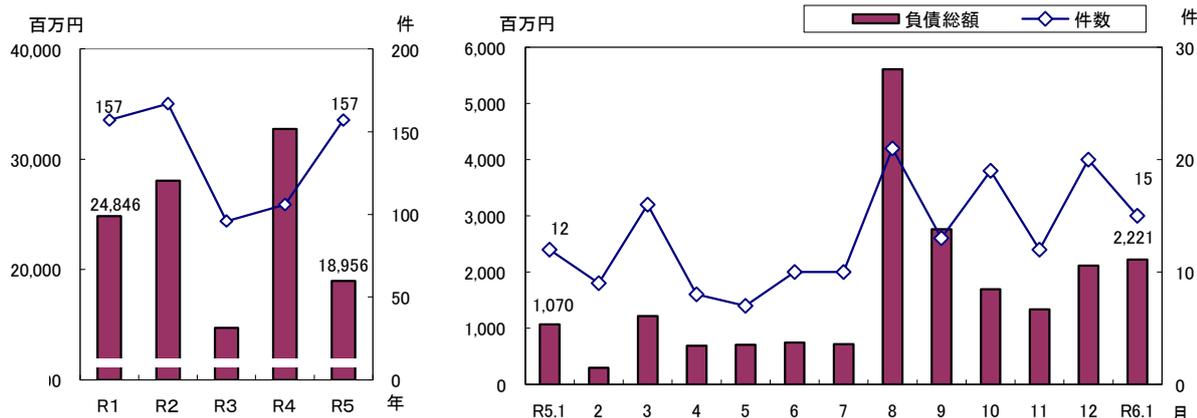
V 企業倒産状況(令和6年1月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が15件、総額22億2,100万円であった。
- ・前月比で件数は5件減少し、負債総額は1億600万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は3件増加し、負債総額は11億5,100万円増加した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)の発生はなかった。

区分	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月
件数 (前年同月比)	12件 (14.3%減)	20件 (81.8%増)	15件 (25.0%増)
負債総額 (前年同月比)	1,337百万円 (45.6%減)	2,115百万円 (20.2%増)	2,221百万円 (107.6%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別・月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、建設業が6件、卸・小売・飲食業が5件、製造業、サービス業が各2件となった。負債総額では、建設業、卸・小売・飲食業、製造業、サービス業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が9件、既往のシワ寄せが3件、他社倒産の余波が2件、その他が1件であった。

4 今後の見通し

令和6年1月度の倒産件数は15件で、コロナ禍を抜け、依然として増勢傾向にある倒産件数であるが、平成27年以降の集計では平成29年と同件数で、最大となった。

業歴別倒産状況では30年以上が3件、20年以上30年未満が5件、10年以上20年未満が4件と業歴10年以上の倒産が全体の80.0%を占め、前月12月度では業歴10年以上の倒産が全体の60.0%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が9件で最多となり、既往のシワ寄せは3件で、売掛金回収難は無かったが、これらを合計した不況型倒産は12件で全体の80.0%を占めた。尚、他社倒産の余波は2件で、グループ企業を持つ企業の倒産も目立った。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は1月度15件中7件発生し、これまでの累計は193件(負債総額1,000万円以上かつ弁護士一任・準備中を含む)となり、このうちゼロゼロ融資を利用した企業は3件となっている。

コロナ禍は収束に向かい、為替に一服感が出ているが、原材料や資材、燃料価格だけでなく光熱費も高止まりし、企業と一般家庭の負担は重くなっている。近年では上昇する物価への対応として、ボーナス・一時金や基本給、ベースアップなどの賃上げを求める声が高まっており、資金力に乏しい企業にとっては人手確保が更に厳しい状況となっている。

こうした複合的な課題をクリアするためには商品、サービスの高い競争力や商品単価の値上げが不可欠であり、価格転嫁が遅れた中小・零細企業には高いハードルとなっている。

また、コロナ禍の過剰債務の解消が先送りされている、中小・零細企業にとっては負の遺産を解消するのが喫緊の課題となっており、更なる資金調達が難しく、資金繰りの悪化に拍車を掛けている。

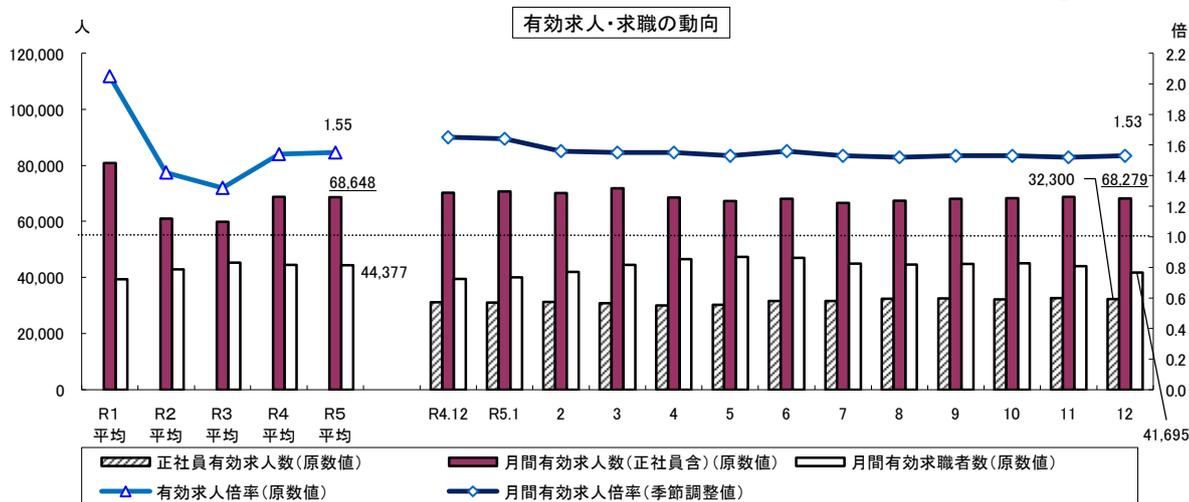
為替の好影響や経済の正常化の影響を受け、過去最大売上や利益を計上する企業が存在するなか、過去の負債を抱えたまま先行きの見通しが立たない企業が内包されており、今後倒産件数は更に増加する可能性を秘めている。

VI 最近の雇用失業情勢(令和5年12月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月
有効求人倍率(季節調整値) (前月比)	1.53倍 (+0.00ポイント)	1.52倍 (▲ 0.01ポイント)	1.53倍 (+0.01ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.21倍 (▲ 0.01ポイント)	1.26倍 (+0.01ポイント)	1.31倍 (▲ 0.02ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

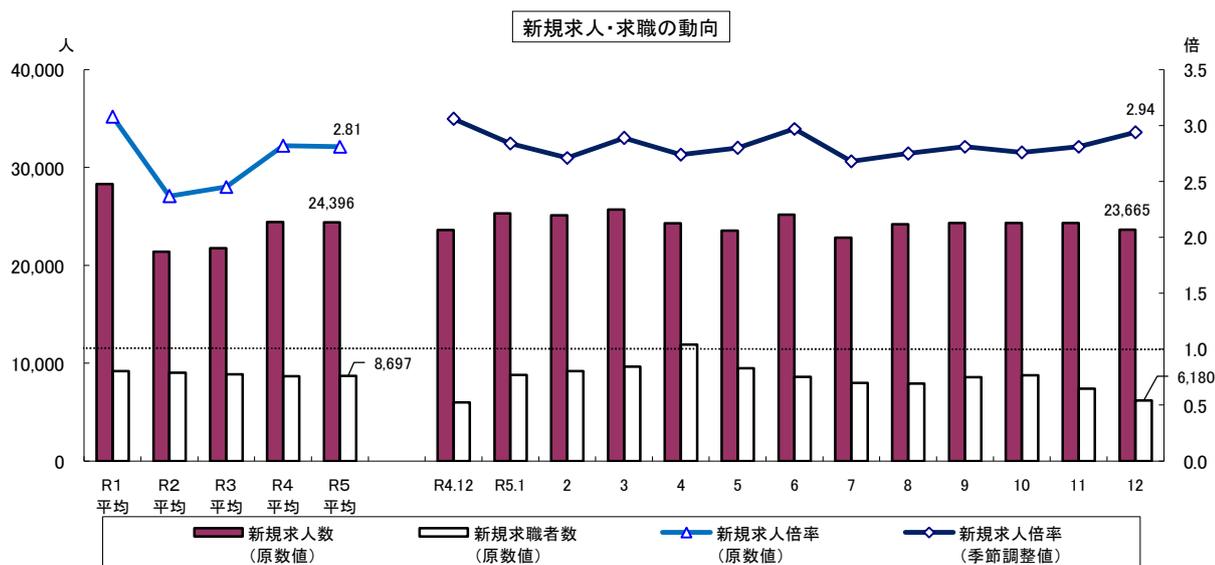
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月
新規求人倍率(季節調整値) (前月比)	2.76倍 (▲ 0.05ポイント)	2.81倍 (+0.05ポイント)	2.94倍 (+0.13ポイント)

【広島労働局】

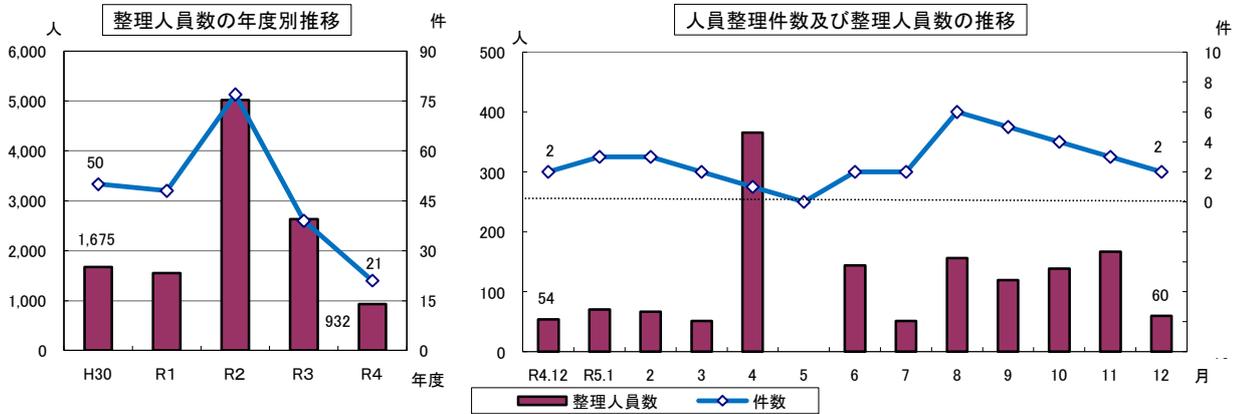


(注) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区分	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月
件数 (前年同月比)	4件 (+ 1件)	3件 (± 0件)	2件 (± 0件)
整理人員 (前年同月比)	139人 (▲ 361人)	167人 (+ 103人)	60人 (+ 6人)

【広島労働局】

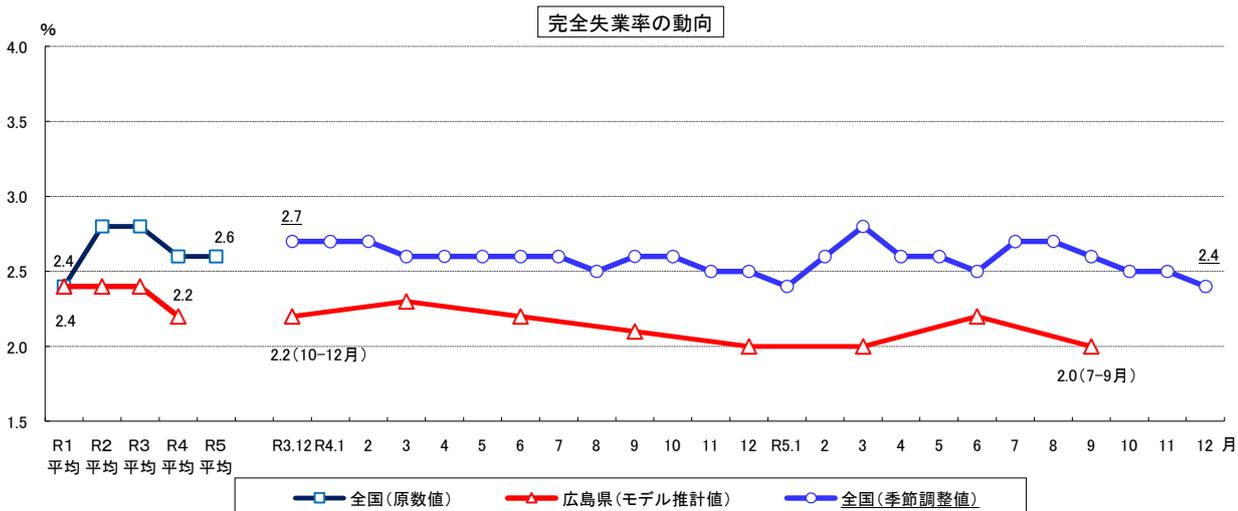


4 完全失業率の状況

区分	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月
全国完全失業者数 (前年同月比)	175万人 (▲ 3万人)	169万人 (+ 4万人)	156万人 (▲ 2万人)
全国完全失業率<季節調整値> (前月比)	2.5% (▲ 0.1ポイント)	2.5% (±0.0ポイント)	2.4% (▲ 0.1ポイント)

区分	令和5年		
	1~3月平均	4~6月平均	7~9月平均
広島県完全失業率 <モデル推計値> (前年同期比)	2.0% (▲0.3ポイント)	2.2% (±0.0ポイント)	2.0% (▲0.1ポイント)

【総務省統計局】



※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。